

研究協力のお願

昭和大学藤が丘病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究への協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

高齢者看護における病棟看護師の実践能力向上を目指した取り組み ～看護チーム活動を通して～

1. 研究の対象および研究対象期間

2022年4月から2023年2月に昭和大学藤が丘病院 8階西病棟で研究者がチームリーダーを務める看護チームに所属した病棟看護師さん

2. 研究目的・方法

本研究の目的は、高齢者看護に関する質評価指標を用いて看護ケアの目標を定めることで、病棟看護師の看護実践能力の向上につながるかどうかを検討することです。

初回のチーム会で「高齢者看護の実践能力を強化し、チームでより適切な看護を提供する」というチーム活動の目標を共通認識しました。そして、高齢者看護の質評価指標を用いて、4月・9月・2月に自己の実践を振り返り評価をしてもらいました。高齢者看護の質評価指標は、17領域80項目の質評価候補についてRAND/UCLA適切性評価法により、9名の老人看護専門看護師を対象として郵送による質問紙調査を2度実施し、各項目について9段階評価を行い検討した医療施設における高齢者看護に特化したものです。そして、関東圏6病院で調査を行った先行文献を参考に15領域72項目とし、自己評価の評点は「5：よく行っている」～「1：全く行っていない」の5段階で設定した。また、5月から患者指導に全人的なケアプログラムを導入し、高齢者を捉える視点の変化や患者・家族の思いに寄り添うスキルの向上を図りました。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2023年7月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

高齢者看護の質評価指標

(17領域80項目の質評価候補についてRAND/UCLA適切性評価法により、9名の老人看護専門看護師を対象として郵送による質問紙調査を2度実施し、各項目について9段階評価を行い検討した医療施設における高齢者看護に特化したものです。そして、松井が関東圏6病院で調査を行った先行文献を参考に15領域72項目とし、自己評価の評点は「5：よく行っている」～「1：全く行っていない」の5段階で設定

しました)

5．外部への試料・情報の提供

該当いたしません

6．研究組織

研究責任者 研究機関名 昭和大学藤が丘病院 氏名 佐藤真樹子

7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて病棟看護師さんにご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学藤が丘病院 氏名：佐藤真樹子

住所：神奈川県横浜市青葉区藤が丘 1-30 電話番号：090-6478-4740